

令和4年度有田市立箕島小学校 スクールプラン

有田市学校教育方針

認め合い、学び合い、郷土を愛する子供の育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情をはぐくむ

保護者・地域の願い

- 学力を身につけた子に
- 命を大切に、安全に過ごす子に
- 元気な挨拶ができ思いやりのある子に
- ふるさとを愛する子に

【学校教育目標】

学び合う学校

【めざす児童像】

- ・よく考える子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・きたえる子ども

前年度の学校評価

基礎的・基本的な学力は概ね定着してきた。主体的・対話的な授業はできている。考えを深める授業の創造をさらに進めていく。

望ましい集団づくりに取り組めた。今後も一人一人の子どもを理解し、対話を密にし、思いやりのある集団づくりを行うと共に不登校やいじめ問題に継続的に取り組んでいく。体力づくりに取り組んできたが、児童の体力を伸ばしていく必要がある。

地域の人材や資源の活用を力を入れた。さらに連携を進め、地域に愛される学校を築く。

児童（生徒）の実態

- 落ち着いた態度で真面目に学習に取り組む。家庭学習に取り組む時間は少ない。
- 良いと思うことを積極的に言う児童が増えてきている。
- 学校生活を楽しく感じている児童は多いが、不登校気味の児童もいる。
- 体を動かすことが好きな児童は多いが、全体的に体力は伸びていない。

重点目標

確かな学力の向上

- 基礎・基本の確かな定着
- ◎主体的・対話的で、考えを深める授業の推進
- 読書活動の推進
- 家庭学習の定着

具体的な取組

- 基礎学力の向上
 - ・漢字・計算力の確認テストの実施。
 - ・学習ルールの共有。
 - ・発達段階に応じたノート指導。
- ◎主体的・対話的で考えを深める授業づくり
 - ・「箕島小の学習スタイル」を基本に取り組む。
 - ・授業の工夫・改善を進め、児童の「深い学び」を充実させる。
 - ・授業や家庭学習でのタブレット端末の有効的な活用を目指す。
 - ・宿題の内容を精選し、家庭学習の充実を図る。学年に応じた家庭学習時間の確保。
- 学校司書と連携し、家庭でも読書量を増やす取組を進める。

指標

- ・漢字計算の確認テストの達成（低学年90%、中・高学年85%以上）
- ・児童の学び合いアンケートの全項目が100%
- ・学年に応じた家庭学習時間に取り組む児童が80%以上。
- ・家庭で児童がよく読書をしていると答える保護者が60%以上。

豊かな心の育成

- ◎互いの良さを認め合い思いやりのある集団づくり
- いじめのない人間関係の構築
- 道徳教育の推進

- ◎子どもを主体とした活動の重視
 - ・児童の自主性を育てる。全体を見て良いと思うことを積極的に進める児童、相手の気持ちを考えて行動できる児童を育てる。
 - ・児童が主体となった行事の企画や運営。
 - ・気持ちの良いあいさつを推進する。
- 子どもの居場所のある学級経営
 - ・いじめアンケートを定期的に実施する。
 - ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。
 - ・個々のニーズに合わせた特別支援教育を推進する。
 - ・不登校児童への早期対応と適切な指導を行う。外部機関との連携を強化する。
- 道徳の授業の工夫と公開を行う。

- ・学校が楽しいと感じる児童が95%以上。
- ・児童の自主性を育てた教職員が90%以上。
- ・学校がいじめのない人間関係づくりに努めていると感じる保護者が90%以上。
- ・あいさつができていないと感じる保護者が95%以上。
- ・道徳授業公開を各学級1回以上行う。

健やかな体の育成

- ◎体力の向上
- 基本的生活習慣の確立
- 危機管理能力の育成

- ◎体力づくりに取り組める工夫
 - ・体育の授業や体育の行事に目当てをもって取り組ませる。
 - ・業間運動を推進する。
- 基本的生活習慣の徹底
 - ・生活アンケートを計画的に実施し、基本的な生活習慣の定着を推進する。保護者への啓発を行う。
 - ・食育や健康教育を推進する。
- 危機管理能力の育成
 - ・避難訓練、防災・減災学習、交通安全教室、登下校指導などの実施、内容の充実。
 - ・日常の安全点検の強化、児童への呼びかけ、指導を充実させる。
 - ・教職員の危機管理能力の向上のための研修の実施、校内安全管理体制の強化。

- ・体力の向上に努めている教職員が100%。
- ・体力テストD、Eを男子15%以下、女子10%以下。
- ・早寝・早起き・朝ごはんの習慣に取り組めた児童が85%以上。
- ・安全・安心な学校づくりに努めていると感じる保護者が95%以上。
- ・安全な環境づくりに努めた教職員が100%。

家庭・地域との連携

- 家庭や地域、中学校区での保幼小中との連携
- 教育活動に関する情報発信
- ◎地域の資源活用の推進

- 学校運営協議会の有効活用
 - ・学校の取組への参加や協力を呼びかける。教育活動の課題を共有し、解決に向けた取組をともに行う。
- 学校情報の発信
 - ・各種便りやHPで積極的な情報の発信。
 - ・授業や行事、取組等を公開する。
- 保幼小中との連携
 - ・保幼小中が連携して情報交流、行事への参加、授業や保育の参観を実施する。
- ◎地域の資源活用の推進
 - ・学校行事や地域の活動などで、広い世代との交流の充実を図る。
 - ・各学年で地域の人材や資源を活用した授業や活動を行う。

- ・各学年で地域資源を活用した授業や活動を学期に1回以上は行う。
- ・学校の情報を伝えていると感じる保護者95%以上。
- ・地域と連携した教育活動を行っていると感じる保護者が90%以上。

◎…特に重点的に取り組むこと